**啓林館　高等学校 科学と人間生活 （科人703）　観点一覧**

[内容の難易度]

* 科学に対する興味・関心を高める内容が扱われている。
* 基礎的な学力が養成できるものとなっている。
* 第１部から第４部の各章末には穴埋め形式の「まとめ」の問題があり，学習したことを振り返り，学習内容が定着するように配慮されている。

[内容の取扱い]

* 各節の冒頭では，学習内容に関する課題が配置されており，学習を始める前に課題を把握して見通しをもつことができるように配慮されている。
* 節冒頭のＱＲコードからは課題に関連する導入動画が視聴でき，生徒の興味をひく工夫がされている。
* 生徒の興味・関心を引く実験や参考，話題が豊富に配置されている。
* 基本的な概念の形成が無理なくできるよう，本文でしっかりとした説明があり，結論部もきっちりと記述されている。
* 「TOPIC」では日常生活や社会とのかかわりが扱われており，学習内容と関連した話題を広げ，生徒の興味を高められるよう配慮されている。
* 手軽に取り組める「やってみよう」や「実験」などが本文中の必要な箇所に設けられ，体験的に学習できるようになっている。
* 探究の過程を特に意識して実験などを行うよう推奨するものには「探究」マークがあり，その活動で重点を置いて取り組む探究の過程が，色分けして強調されている。

[構成・分量]

* 各項目が基本的にページの頭から始まっており，見やすさとともに，授業の区切りをつけやすい構成になっている。
* 「序章」は「科学技術の発展」のテーマで，通信・医療・交通技術を例にして，科学技術の進歩・発展が人間生活に与えた影響を考えることができるようになっている。
* 第１部から第４部では，物理・化学・生物・地学の各分野の内容をそれぞれ扱っているが，配列が　生物→化学→物理→地学　の順序で展開されており，観察・実験の適期などが考慮されている。
* 第１部から第４部は，それぞれ独立した２つの章で構成し，どちらかの１章のみを履修しても学習を進めることができる。また，他の部・章を参照することで学習が深められる箇所には，適宜参照ページが示されている。
* 「終章」では，「課題研究の進め方」が設定されており，これまでの学習を受けて，これからの科学技術と人間生活について課題研究を進めていくことができるようになっている。
* 後見返しでは，「職業につながる科学」のテーマで，理科で学習することが様々な職業と関連していることを実感できるように配慮されている。

[表記・表現および指導上の便宜]

* 基本的な事項・重要概念については本文でていねいに解説され，さらに図・写真なども十分に活用して分かりやすく工夫されており，理科を不得手とする生徒にも理解できるように配慮されている。
* 本文中の重要語は太字で強調され，重要語の漢字には全てふりがながつけられているなど，効率のよい学習ができるように配慮されている。
* ＱＲコードから閲覧できる豊富なデジタルコンテンツで，興味・関心を高め，理解を深められるよう工夫されている。

[その他]

* B5判でページ数も少なく，コンパクトである。
* 教科書の各所に，「見てみよう」という写真・図を中心とした囲み欄があり，生徒の目をひきつけ，知的好奇心を高めるよう工夫がされている。
* 実験についての基本事項や基本操作など，巻末の資料が充実している。
* 実習に役立つ付録「簡易分光器」がついている。